



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

議会だより

第61号

平成29年2月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967



第15回 まほろば大和ウォーキング大会（奄美フォレストポリス一帯）

主な内容

第4回定例会 一般質問（4人）…………… 2～7

第4回定例会 …………… 8～9

議会の動き・編集後記 ……………10

第4回 定例会 一般質問(4人)

平成28年第4回定例会(12月)において、4名の議員が一般質問を行い、外来種(アカギ)の除去、29年度予算編成に向けての具体的な取組、これからの農業・漁業者育成、平成29年度予算編成などについての行政施策をたしました。質問及び答弁要旨については次のとおりです。なお、質問者が皆様にお伝えしたい内容を前面に出せる表記を行うために、編集のあり方は各議員の裁量としております。

(12月16日 本会議)

外来種(アカギ)の除去について



民 文 忠 議員

フォレストポリス開園時に植栽されたアカギは、日陰を作るありがたい木だが、何年前から福元地区の畑にも生えている。小さいうちに見分けるのも難しい。繁殖力が強く、大木になり、切つても若芽を出す外来種である。福元地域に蔓延する前に除去できないか。



フォレストポリスのアカギ

(答弁) 生態系や在来生物に対する影響力が特に強い外来種は侵略的外来種と呼ばれており、アカギはその代表的な植物。

特老、施設について

今、10床位が空いている様だが、何故入所者が入つてこないのか、待機希望者はいないのか。

(答弁) 現在、定員50床に対し長期入所者39人、

公園樹として植栽され、暮らしに役立つ優良樹としての側面もある。しかし、国立公園指定・世界自然遺産登録が間近になっている今、侵略的外来種の駆除は生態系を守るためにも重要。フォレストポリスの公園内には16本植栽されているが、専門家の意見も聞き、代替樹剪定等も含めて今後検討させていただきたい。

待機者11人。介護保険法改正以降、施設への入所基準が原則要介護3以上となり、待機者も要介護の低い方が多い現状である。今後は、村外施設に入所されている方への大和の園への入所を勧めるなど、健全運営に努めた

介護士の増減を考えているか。有資格者採用は考えられないか。

(答弁) 介護士採用ではなく、今働いている人たちに資格を取ってもらうことを考えている。経営が厳しくなると民間でも働ける流れを作ることが大事。大和の園は今後も直営なので、ケアマネー

ジャーがプランを立てる中で施設を勧めることも大事で、保健福祉課・社協とタイアップしている。今後多くの方に利用してもらおう取組を進めたい。

「このままで特老の運営に影響はないのか。今後この入所者を呼び止めるためという方策を講じようと思つていいか。」

（答弁）入所者減少で歳入不足への影響が予想される。長期入所者の確保に努め、要介護の低い方には短期入所を利用していただき、業務の効率化を図りながら歳出経費の抑制に努め、入所者が安全・安心に生活ができる

よう、介護サービス運営に努力してまいりたい。

本村ではお年寄りは減少しており、健康であるため施設に入る方が少ないという原因もある。施設維持のために入所者を決めるというより、今奄美は住みやすくなり利便性も高まっていることを村外にいる出身者に伝え、定年を過ぎ子育ても終わった方たちに、元氣なう



大和の園 介助の様子

ちに島に来てもらいたい。ちよつとした収入源になる場所を作りながら呼び

掛けていきたい。入所者を募ることも一つの手段。



蔵 正 議員

村長選挙について

2期満了後の、出処進退の意向はどうか。

（答弁）奄美群島では、奄美群島振興開発事業の交付金効果や世界自然遺産登録に向けた取組など、大きな追い風を受けようとしている中で、大和村

のビジョンを加速させる時期である。これまで村の情報発信や、人脈づくりに取り組んできたが、未だ道半ばであり、投げ出すわけにはいかないとこの思いがある。村民のご理解を得て3期目の重責を担わせて頂きたいと考えている。

29年度予算編成に向けての具体的な取組について

就農希望者が見えない現状で、農業振興を具体的にどのよう考えるか。

（答弁）村全体で活動してきた、人・農地プランを、地域の特性を活かした農業の視点から、「国直・湯湾釜地区」「津名久・思勝・大和浜地区」「大棚・大金久・戸円地区」「名音・志戸勘・今里地区」「福元地区」の5つのブロックに分けて、ブロックごとの活動を展開することで、農地の集積や、耕作放棄地化の抑制を図り、農家をリスト

化し、就農希望者への相談体制を整備する。

本村の農業従事者総数89名で、70歳以上が半数を占め、60歳以上が63・8%で本村の農業は高齢者に支えられている状況にあるが、高齢者の農業意欲増進のために、「まほろば館」に専門職員を配置して、青果品や加工品の流通の活性化を図るべきではないか。

(答弁) 役場職員だけでは人員不足であるため、現在、地域おこし協力隊員を活用している。

今後は計画中の合同会社(農業法人)の人員と共に、活性化に向け取り

組んでいく。



まほろば館の野菜等

設立を目指す農業法人は具体的にどのような目的を持った組織なのか。

(答弁) 本村農業の諸課題である、担い手不足、耕作放棄地、高齢化による労働力の低下等の解決を目的としている。まずは農産物の生産確保を図り、将来的には雇用の場

につなげていきたい。

世界遺産登録に伴い、増加が見込まれる観光客対策として、具体的にどのような構想があるか。

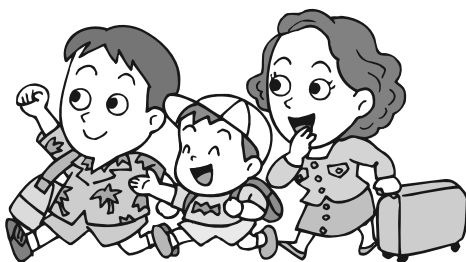
(答弁) 群倉の活用は「野生生物保護センター」や「まほろば水と森公園」と一体となった散策コースとしての位置付け等を考えている。トイレ等の整備も含めて検討していく。

フォレストポリスについては、指定管理者と当局と地域おこし協力隊も交えて、施設の改修・改善も含め今後の対策について協議を進める。

体験交流については、

NPO法人TAMASUを中心にしながら、8月踊り体験や島料理体験など、ガイド育成と併せて、どのような体験が可能なか協議していく。

さらに、まほろば館に代わる、情報の発信拠点、農林水産物の販売所、食の提供等もできる施設の構想も模索しているところである。



議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。 お問い合わせ先 **☎57-2216** (直通)



重 信 安 男 議員

これからの農業者育成について

長溝地区や瀬佳地区の辺りは農地区画整備されているが、三田地区に農地を持つ地権者は、現在、大半が袋地になっっているため農業が大変しづらい。現在15人ほどの地権者がいるが、車が入れる道路がないためとても苦慮している。道路があると

ころはきれいに農業をされているが、川沿いは耕作放棄地のままである。道路ができれば農業者も意欲が出るのではないか。何とか整備できないか。

(答弁) 農道設置要望は

以前集落座談会からも要望が出ており、現場確認した経緯もあるが事業導入には至っていない。事業導入の実施については、

集落や受益者からの要望書並びに同意書の提出が必要。内容、面積、人数等は役場で把握している。まずは集落や地権者などの要望書及び同意書の整備をしていただき、その後、県営に持つていくか村単独でやるか等どういう形で整備を行うかの検討になる。



瀬佳橋から見た三田地区

これからの漁業者育成について

瀬佳地区川沿いの先に工事がされていない理由は何か。

(答弁) 昭和59年度に小規模事業として行ったが、地権者の反対があつて途中でまで行い、それ以降は地権者の同意が得られなかったため。

漁業で生活している方は村で数名しかいないが、港には操業しない船が何隻も止まっている。この状況が続くと、この先、水産業は衰退していく一方である。現在、漁業に関する助成は燃料助成しかない。船はとても古く、船体

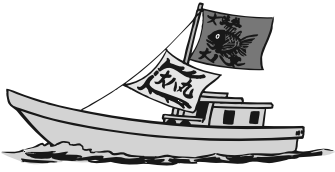
が一部壊れる、備品が悪くなる等、維持管理にとても苦労されている。船の備品は高価なものばかりだが、塩害には強いが数年経つと故障が出てくる。備品がなければ漁ができない。備品等購入するときに補助を受けられないか。

(答弁) 平成26年度から、

正組合員に対して上限を3万円とした燃費助成制度を実施し、好評をいただいている。次年度は上限の引き上げや漁具購入などの助成を実施できないか考えている。漁業者からの意見聞き取りや意見交換もしながら検討を進めたい。

農業も同じだが、漁業をしたいという環境を作っていたとき、当局からもつと声掛けや後押しがあれば、若者の漁業者も増えてくるのではないかと。私が知っているのは高齢者の方ばかり。部品を買っにしてもローンを組めない状況である。

(答弁) 今は来年度の予算査定前なのではっきり言えないが、そのように方向づけ、是非予算確保したい。



平成29年度 予算編成について

人口問題は本村行政の1丁目1番地。宮古崎トンネル開通後は奄美市までの時間が短縮され、交通費を考慮しても住宅費が安い本村への移住が増えることを期待したいが、完成は5年後の平成34年度。本村の人口減少は喫緊の問題であり、減らさ



奥田 忠 廣 議員

ない対策が急務である。トンネルの早い供用開始ができないか、1年でも前倒しをした予算確保について国・県へ要望、陳情など行う考えはないか。

(答弁) 人口減少策では定住施策拡充や現施策の検討を行い、住居整備や空き家改修、子育てしやすい環境作りを行う。転出抑制策では就学支援制

度の検討をしている。宮古崎トンネルについては、他自治体の公共事業推移から事業枠の余裕も考えられるが、奄振要望や国會議員へ要望し、進めていきたい。



宮古崎トンネル（国直側）

村長就任から現在までの7年で人口減少に歯止めはかかっている。21年の5月に1803人だった人口は今日現

在1538人で265人の減少。例えば国直の116人と湯湾釜の146人が全員いなくなるような計算になる。大型プロジェクトが終わるから予算が回るではなく、国や県に実状を訴え、早期開通を取り付けていくのは村長や私たちの使命である。一緒に進めていけないか。

(答弁) 29年3月の県議会へ契約議案が上程される。その後の予算措置を訴えることが大事。一年でも早く完成するに越したことはなく、その方が効果は大きい。議会と一緒に県当局に対し強く要望活動を行いたい。

人口減少の歯止めには、他市町村が驚く奇抜な考えで臨むべき。行政投資で日本一になれそうなのが教育。文科省は小学6年生と中学3年生に全国学力・学習状況調査を行つている。その成績日本一を目指す学習塾の開設、子どもの未来への投資。志望校へ確実に入学できる学習塾を無料提供することで、移住希望が必ずある。2060年には国の人口が4千万人減少すると言われている。本村のような過疎の村は名を知られることが必要。日本一成績の良い小中学校作りを目指す研究機関設置

の予算措置を強く申し上げる。生まれた環境で教育格差ができると思う。夏休みの受講料7万円という学習塾もあるが、通える生徒は安定収入のある家庭が高額収入家庭の子どもだと思われる。日本の最高学府である東京大学の学生は家庭年収900万円以上が多く、家庭収入の差が現れている。

(答弁) 教育環境整備は、村の将来を担う人材育成にも大切。学力は学校・家庭で培うものと認識しており、機会を提供して重要なのは子どものやる気である。しかし実際に塾へ通う生徒もおり、

学校教育の補完的役割と、個々の学力をさらに伸ばすため、インターネット塾開校を検討中。保護者の経済的・時間的負担軽減にもつながると考える。先日、村内で東大ネットアカデミー進学塾体験会を開催した。地理的条件に関わらず機会を提供し、可能性を伸ばし才能を生かすことが目的の進学塾で、特徴はインターネット活用。東京との距離を感じさせない授業で、講師は現役の東大生。また受講したいとのアンケート結果も出ている。対象学年や期間を定め、29年度から試験的に実施したい。

奄美市でも学習塾の看板は多く、それだけ生徒がいるということ。29年からの農業法人に入っていくシルバー人材の中にも、子どもに教えるためのスキルを持つ方がいると思う。全国学力・学習状況調査は全国紙で毎年発表され、鹿児島県は高い方ではない。行政が力を入れることで何か日本一というものに作り変えていかなければ、人口減少の歯止めはできない。

(答弁) 施策を打ち出し進めることで抑制につながり、若者が住むことで出生率向上につながる。今、何をしなければなら

ないか職員で考えていくことが、総合戦略の一環にある。これまでの子育て支援を拡充しながら新しいことを進める中で、大和村は住みやすい場所だと、また、学習塾を始めた場合、それが学力向上につながると、そのような流れになると思っており、皆さんにご理解いただける予算編成に向けて進めていきたい。



第4回定例会

平成28年第4回（12月）定例会が12月8日～16日（9日間）まで開かれ、一般会計及び各特別会計の補正予算をはじめ、条例改正・制定や議員提出による発議などの議案が審議され、すべての議案が可決されました。

可決された議案は、次のとおりです。

予 算

●平成28年度 一般会計

補正予算（第3号）

補正額

4753万8千円

増額

予算総額

28億7668万6千円

（補正内容）歳入におい

ては、大島食糧残余財産分配金や財政調整基金繰入金などが増額され、歳入においては、人事院勧告による人件費や公営住宅修繕事業などが増額されました。

主な補正は次のとおりとなっています。（※1万円未満切り捨て）

（歳入）

○国庫補助金（住宅費）

611万円増

○県委託金（選挙関係）

328万円減

○財産収入（大島食糧配当金）

984万円増

○財政調整基金繰入金

3200万円増

（歳出）

○総務管理費（地デジ改修事業）

111万円増

○社会福祉費（児童手当）

200万円増

○住宅費

2480万円増

○教育費（小学校修繕）

124万円増

●平成28年度 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

補正額

1万円 増額

予算総額

7678万5千円

（補正内容）歳入におい

ては、雑入が増額され、歳出においては総務管理費及び施設管理費が増額されました。

●平成28年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号補正）

補正額

378万4千円 減額

予算総額

3億2483万4千円

（補正内容）歳入におい

ては、財政調整交付金の減額、歳出においては、人件費や入院患者の雑により、療養諸費などが増額されました。

●平成28年度 大和診療所特別会計補正予算（第2号補正）

補正額

493万9千円 減額

予算総額

9298万円

（補正内容）歳入におい

ては、院外薬局移行による減額、歳出においては、人件費及び医師住宅修繕による増額また、院外薬局に伴う医薬品費の減額をしました。

●平成28年度 介護保険別会計補正予算（第2号補正）

補正額

216万円 増額

予算総額

2億8527万2千円

（補正内容）歳入におい

ては、介護給付費や繰入金が増額され、歳出においては、一般管理費や介護予防サービス給付費等（住宅改修）が増額されました。

●平成28年度 大和の園
特別会計補正予算（第2
号補正）

補正額

169万円 増額

予算総額

1億9416万5千円

（補正内容）歳入におい
ては、入所者介護サービ
ス費が増額され、歳出に
おいては、人件費等が増
額されました。

●平成28年度 後期高齢
者医療特別会計補正予算
（第2号補正）

補正額

23万2千円増 増額

予算総額

3004万3千円



（補正内容）歳入におい
ては一般会計繰入金の減
額及び前年度繰越金の増
額、歳出においては、一
般管理費（人件費）が増
額されました。

条 例

●大和村税賦課徴収条例
の一部改正

（改正内容）

今回の改正内容は、外
国居住者等の所得に関す
る相互主義による所得税
等の非課税に関する法律
が施行され、地域におけ
る二重課税を解消するた
めの改正です。

●大和村国民健康保険税
条例の一部改正

（改正内容）

今回の改正内容は、外
国人等の国際運輸業に係
る所得に対する相互主義、

外国居住者等の所得に関
する相互主義による所得
税等の非課税に関する法
律が施行され、地域にお
ける二重課税の回避や脱
税の防止を解消するため
の改正です。

●大和村長等の給与等に
関する条例の一部改正

（改正内容）

今回の改正内容は、人
事院勧告により特別職の
期末手当の支給率を引き
上げようとするものです。

●大和村職員の給与に関
する条例の一部改正

（改正内容）

今回の改正内容は、人
事院勧告により給料表の
水準の引き上げ、勤勉手
当の支給率の改定を行う
ものです。扶養手当に関
して29年度より段階的に
改正するものです。

●大和村職員の勤務時間
休暇等に関する条例の一
部改正

（改正内容）

今回の改正内容は、育
児休業法改正意見の申し
出及び勤務時間法改正勧
告に伴い、民間労働制に
則した条例改正。介護休
暇や育児休業等について
見直しを行いました。

●大和村農業委員会の委
員及び農地利用最適化推
進委員の定数に関する条
例の制定

（改正内容）

この条例は、農業委員
会等に関する法律の一部
改正に伴い、公選制が議
員の同意を要する選任制
に改められ、農業委員と
は別に農地利用最適化推
進委員が新設されるもの
です。

そ の 他

●大和村過疎地域自立促
進計画の変更について

過疎地域自立促進計画
は、平成28年度～32年度
末までの5年間を策定し
ていますが、今回、事業
計画の変更及び追加に伴
い、計画を一部変更する
ものです。

発 議

●地方議会議員の厚生年
金制度への加入を求める
意見書について

町村議会では、議員の
なり手不足が深刻化して
いる。幅広い世代の方が
議員になろうと思える環
境作りを行うと共に、地
方議会議員の年金制度を
時代にふさわしい制度に
すること、人材確保に
つなげたい。

議会の動き

【10月】

2日 村内小学校運動会
5日 全員協議会（議員控室）
6日 議会広報研修会（鹿児島市・広報委員）
9日 九月九日豊年祭
15日 瀬戸内町制60周年記念式典及び祝賀会（瀬戸内町・議長）
27日 常任委員長研修会（鹿児島市・蔵常任委員長）
31日 議会報告会（国直・議員）

【11月】

4日 一部事務組合議会（奄美市・衛生組合・消防・介護・農業共済）
8日 第35回離島振興市町村議会議長全国大会（東京・議長）
9日 第60回町村議会議長会全国大会（東京・議長）
9日 監査委員研修会（和泊町・監査委員）
10日 議会報告会（津名久・議員）
21日 大島本島南部振興協議会要望活動（鹿児島市・議長）
22日 大和村合同金婚式（防災センター・議員）
23日 議会報告会（大和浜・議員）
25日 議会報告会（湯湾釜・議員）
28日 各種協議会（天城町・議長）
30日 議会運営委員会（議員控室・運営委員）

【12月】

3日 禧久県議県政報告会（産業振興総合センター・議員）
4日 奄美群島社会福祉大会イン大和村（防災センター・議長）
6日 議会報告会（大金久・議員）
8日 第4回大和村議会定例会（開会）
12日 議会報告会（思勝・議員）
16日 定例会最終本会議（一般質問・閉会）
26日 ドクターヘリ運行開始式（奄美市・議長）



収穫が始まったタンカン

編集後記

緋寒桜が満開を迎え第十五回
目のまほろば大和ウオーキング
大会（表紙）が過去最高の八七
一名の参加者の元盛大に行われ
ました。あいにくの天候でした
が、思い思いのペースで楽しく
歩かれました。ウオーキング後
は、熱々の豚汁またお楽しみ抽
選会が行われ、村外からいらつ
しやった方々も大和村の良さを
感じてくれたと思います。議会
としましても議員活動を通して、
多くの皆様に情報発信をしてい
きたいと思います。手始めに、
手にとって読んでもらえる議会
だよりを作っていけるよう頑張
りたいと思います。

広報委員長 民 文忠

広報委員 蔵 正

〃 宮田 到

〃 池田 幸一